

8 装 備 報 告

松 本 繁 文

今回の遠征は、ヒマラヤなどに比べ対称の山々の標高が2000~4000mと比較的低くまた気候的に、それ程きびしくないため国内における冬山合宿の装備計画をベースにすれば十分であろうということから今回の装備計画をたてました。

特に言えば、メンバーが5人である関係上装備の軽量化をはかる意で登はん具は、きりつめ、前進キヤンプ用テントはナイロンツエルトに合しよう式ボール(超タジュラルミン製)とフレームの入る軽く風に強いものを採用しました。

また予想される氷やナイフリッジの状態が、けつきりしないため数種のアイスハーケンとスノーバーを用意しました。

その他の装備類については、全く国内における合宿に沿いました。ただ期間が長くなる関係より予備の必要なものなどを、また、天気の予報のため高度計(気圧計)をつけ加えました。

登はん用具

品 目	数	単位数量	備 考
ナイロンザイル	3	3.00 (kg)	10mm×40m, [11mm×40m]×2
フィックスザイル	250m	1.1kg/40m	当初の計画からは、これが限度
	40m	1.8 /40	であろう。実際今回の使用は、80m
アイスバイル	2	1.0	
アイスハンマー	2	0.5	
アイスハーケン (スクリュー)	10	0.1	使用量は 0
(コノ字、平型、パイプ)	20		〃 コノ字型 4
スノーバー	10	0.19	長さ 50cm、使用量は 9
カラビナ	35	0.13	使用量は 15
標式用竹ザオ	10		現地にて用意する (Paxsonにて、川柳らしきかれた ものを使用)
赤 布	20		

登はん用具

品目	数	単位重量	備考
ブルジック (4mm)	10mm		(使用時の際、適当な長さに切つて使用 クレモナロープ)
(6mm)	10mm		
オーバーシュズ予備	3	0.40	使用量は 2
アイゼンバンド予備	5	0.05	〃 3
ピツケル予備	2	0.70	〃 1
ピツケルバンド予備	2	0.02	〃 0
背 負 子	2	1.30	
あ ぶ み	2	0.70	〃 0

生活用具

品目	数	単位重量	備考
夏用テント 〔フレームポール〕 〔フライ、本体〕		2.60 Kg 7.60	合しよう式、中1本フレーム入 底つき
簡易テント	2	1.80	合しよう式 (ポールは超タジュラルミン製 フレーム (竹製))
スコップ	3	1.40	(中)1 (小)2
		0.66	(小)は ジュラルミン製、(大)は鉄製
ノコギリ	2	1.00	大、小の 2 種
		0.40	使用はほとんど小で間に合つた
ナ タ	1	0.70	現地での標式用バーと、ペグ作りに使用
ビニールシート	4		(大)2 (小)2 の 2 種
ホエブス	2	1.40	大・小の 2 種
		0.70	
ボ ン	2	0.10	事故の際の、ガソリン節約による 水作りに、有効的であった。
コツヘル	2	1.40	大・小の 2 種
		0.80	

品 目	数	単位重量	備 考
フライパン	1	1.5 0	
テルモス	2	0.5 0	内容量 0.8 ℥
ガソリンポンプ	1		
ボリタンク (2 ℥)	4	0.2 3	
エアーマット予備	1	0.9 0	
細引 (4mmロープ)	1.5 m	0.1 5 /m	
ヘッドランプ	1	0.2	使用回数 0
電 地			単 2 - 8 コ 単 3 - 3 2 コ
軍 手	2	0.0 5	
石けん	1		
※小物類セット	2	1.1 0	
修理具 ハ	1	1.3 0	(ベンチ、ホエブス用パーツ)
スイスメタ	3箱	0.2 0	使用量は 2,6 箱
チリ紙	1,800枚		
トイレットペーパ	3巻		
ハカリ	1	5 0	5 0 Kg まで計れるもの
あみ	1		
カミソリ	1		

※庖丁、タマシヤク、シャモジ、缶切、針金、タワシ、マツチ、ポンド
ビニールテープ、ビニール袋、ダスター、さいほう用具

個人装備

品 目	数	単位重量	備 考
ヤツケ	1	0.4 4 kg	
オーバーズポン	1	0.3 0	
オーバーミトン	1	0.0 8	テントシューズ代りに使用の他 使用はなかった。
オーバーシューズ	1	0.4 6	
キルティングコート	1	0.6 5	

品 目	数	単位重量	備 考
セーター	1	0. 3 5	
ニツカズポン	1	0. 7 0	
下着(毛、上下)	1	0. 3 6	
(合維上下)	2	0. 1 6	
ストッキング(毛)	1	0. 1 5	
靴 下(毛)	2	0. 1 0	
手 袋(毛)	2	0. 1 0	
スポーツシャツ(毛)	1	0. 4 2	
日出帽	1	0. 1 0	
ゴーグル	1	0. 0 5	
サングラス	1	0. 0 5	
登山靴	1		
ビヅケル	1	0. 8 0	バンド付
アイゼン	1	0. 7 5	
アイゼンバンド	1	0. 0 5	
アタックザック	1		
スパッツ	1	0. 0 7	
安全ベルト	1	0. 5 8	
コンパス	1	0. 0 4	金属類が磁気をおびコンパスの針がひきつけられる事があった
シュラフ	1		
シュラフカバー	1	0. 2 5	
エアーマット	1	0. 9 0	
雨 具	1	0. 4 5	
食器セット	1	0. 1 5	
スプーン	1	0. 0 5	現地ではしを購入、はしの使用が多かつた。
ナイフ	1	0. 1	

品目	数	単位重量	備考
整理袋	2	0.4	一束一巻
ノート	1		
靴ヒモ予備	1	0.02	手袋
時計	1		（日付・手）
手拭	1		（手拭）

その他の共同装備

品目	数	単位重量	備考
キスリング	3	3.50	
ガソリン	50ℓ		現地購入
ローソク	8 本		全く使用せず
カメラ	4		アサヒペンタックス レンズ 35mm, 135mm ニコンF レンズ 55mm キャノン7 レンズ 55mm キャノンデミ（ハーフカメラ）
フィルム			カラープリント 20本 カラースライド 30本 白黒フィルム 20本
双眼鏡	1		
高度計	1		
温度計	2		
トランシーバー	2		
ラジオ	1		
地図			
ガスライタ用ポンベ	1		
〃 石			
封筒			
びんせん			
トランプ	1		
歌集	3		

登はん用具について実際の使用状況に照し合せ考えると、雪の状態からスノーバー、コノ字型アイスハーケンの使用が多く、ロツクハーケン、スクリューハーケンの使用がなかつたわけであるが、Mt. Hayes 南稜の登はん計画を含めて考えれば、きびしい氷に対してのスクリューハーケンは、必要であつたろうしましたロツクハーケンも全く無いでは不安であろう。スクリューハーケンに関しては、パイプ状のものが有効であると思う他のアイスハーケンに関しては、平型のものは、氷に対して全く打ちこめなかつたがコノ字型のものは、よくきててくれた。また長さ 20 cm 程のものが扱いやすくスノーバーについては、今回のスノーバーの長さが 50 cm 程のものばかりであつたが 1 m 程のものを最長のものとして長短の種類が用意できれば、もうしぶんないと思う。

生活用具について言うと、ベースにおけるストーブのプロパン化は遠征の登はん形式にもよるが遠征に期間が長くなる程ベースでのおちつきなどを考えるとプロパンガスの使用はいいと思う。アラスカの様に軽飛行機を、ふるに利用する場合、入山の荷の重さに、さほど気をつかうこともないのでまたプロパンの規格は、世界的なものがあるので現地購入も可能であるためベースキャンプにおけるプロパンガスの使用はいいと思う。また今回のベーステントはフライ付夏用底付のものであつたが氷河上の雨、風、雪に対しては十分であつた。他に気がついた事（実感として思つた事）であるが事故の際パイラットにスノーラケットを持つているかと聞かれ、持つてないと答えた時パイラットは、あきれたような顔をして自分のスノーラケットをはいてモクモクと救助用のランディングコースを作つていた。彼の歩くのを見ていると一般的にアラスカの氷河上の歩行には最適であるのがよくわかつたまたスキーでは扱いにくいであろうと思う。

終りにアンカレッジにおけるスポーツ店の登山道具の値段を参考程度に報告しておきます。

1 2 本アイゼン	\$ 1 6. 7 5
ハンマー	4. 9 5 ~ 1 9. 9 5
カラビナ (ジユラルミン製)	2. 5 0 ~ 2. 8 5
アンカー	6. 9 5

スノーバー	\$ 4.00 (1 m 程のもの)
登山靴	3 6.75 ~ 3 7.56
スノーラケット	3 9.50
コツセル	4.95 ~ 6.95
手袋 (毛と化繊の混紡)	(# 1 6 ~ # 2 4) 2.95
ロングスペッツ	6.49
ミニストーブ (ブタン用)	9.75
断熱用マット	2.00
スクリューハーケン (パイプ状のもの)	5.85
(ステューバイ)	2.40
ジュラルミン製スコップ	5.75
靴 下(毛)	2.50 ~ 2.90
キルティングコート (羽毛)	4 5.75
ビツケル (ステューバイ)	1 6.50
(グリベル)	2 9.75
チヨヅキ (羽毛)	1 8.95
フイツクスロープ (ナイロン 9mm)	2 5 € / f t
(ポリエチレンロープあみ状)	8 € / f t
雨 具	8.50

(この値段を調べた店は、The Sports Chalet, Cary King, Eberhard's Sports Shop, Army Shop などいろいろありますが値段は、ほとんど皆同じで、山の専門店というのは、The Sports Chalet, Eberhard's Sports Shop)